

医療法人社団 誠仁会を受診された患者さまへ

当会では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

施設名	みはま病院・みはま佐倉クリニック・みはま成田クリニック・みはま香取クリニック
研究課題名 (研究番号)	前立腺肥大症手術におけるPVPとHoLEPの使い分け：単一施設・同一術者の経験から (26-013)
当会の研究責任者 (所属)	宮富良穂 (みはま病院 泌尿器科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	ありません
本研究の目的	当院において前立腺肥大症に対して施行したPVP（光選択的前立腺レーザー蒸散術）およびHoLEP（ホルミウムレーザー前立腺核出術）症例を後方視的に検討し、両術式の患者背景、術後排尿機能、蓄尿症状、QOL、周術期合併症を比較します。また、各術式の特徴を明らかにし、抗凝固薬・抗血小板薬の中止が困難な症例、前立腺体積、前立腺形態などを含めた実臨床における適切な術式選択について検討します。
調査データ 該当期間	2020年3月から2026年3月まで
研究の方法 (使用する試料等)	調査機関に当院で研究責任者1名が施行したPVP133件とHoLEP84件を対象に、年齢、抗凝固薬の使用の有無、尿道カテーテル使用・間歇的自己導尿の有無、全身状態、尿培養結果、主たる既往症、術前・術後1か月・3か月・6か月・1年それぞれでのIPSS（国際前立腺症状スコア）/OABSS（過活動膀胱症状スコア）、QOLスコア、Qmax（最大尿流率）、PVR（残尿量）、手術因子として、前立腺体積、前立腺形態、手術時間、核出重量（HoLEP）、手術合併症、前立腺癌の合併の有無（HoLEP）、術後鎮痛剤の使用、術後抗コリン薬/ β 3阻害薬の使用の有無などを、比較検討します。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	ありません
個人情報の取り扱い	患者さん名は、登録時、暗号化し、実名など特定できないようにします。
本研究の資金源 (利益相反)	特に資金は必要ありません。利益相反はありません。
お問い合わせ先	医療法人社団 誠仁会 みはま病院 泌尿器科 研究責任者：宮富良穂 電話番号：043-271-2200
備考	